

ガンバレ！ネバーギブアップ！

2005年度も残すところ3rdステージだけ！名門チームの凋落が目立っている。
是非、最終ステージでは巻き返して名門復活を期待したいものだ！

24位の97ポイントから30位の78ポイントまで僅か19ポイント差の中に6チームがひしめき合っている。どのチームにも残留のチャンスはある。最終ステージの頑張り次第で逆転も生じよう。各チームとも諦めることなく「粘りと根性」を見せて欲しい。



JA大会の賞金王「フェアリー」

前年度、Aリーグ入りを果たしているので力は十分！なかなかベストで臨めなかったのが今度こそは期待感十分の「謎の美女集団」フェアリー。



ミニバレーチームのお手本「スペード」

いつもフェアプレー精神を忘れない、まさしくミニバレー界のお手本チームである名門「スペード」。現在28位のチームを6ポイント引き離しての27位。油断することなく最後まで頑張ってもらいたい。



J2からの昇格組名門「八王子」

J2での厳しい試練を乗り越えJ1に昇格したが、本年度はチーム編成に苦しみ低迷しているが、2ndから新人アタッカーの加入でパワーアップ！（美紀ちゃんの従姉妹ですから美人！？）村山のトスワークにチームの浮沈がかかってくるであろう。アローズとして混合では結果を残しているだけにJ1でも同様の実績を期待したい。残留となれば、是非村山（すい子）に「ミニバレー水滸（すい子）伝」の出筆を依頼したい。

どうしたヤンキーズ！

昨年には堂々のAリーグ入りで旋風をまいたヤンキーズの低迷には驚かされる。個々の能力は十分なのに結果がついてこない。チームプレー特につなぎに問題がありそう？いかに人が好いとはいえ大リーグ、ヤンキーズ低迷にお付き合いしなくてもよさそうだが？最終ステージの頑張りには期待したい。

負傷者多数？まぐにちゅ〜ど

今年J1に昇格し、強力二枚アタッカーを擁し期待の新星だったはずが、負傷によるチーム編成に泣かされているようだ。アットホーム的な良い雰囲気を持つチームであるが・・・飲み方が多すぎるのが負傷の原因ではなからうか？男子の巨漢酒井（100キ。超級）のようになったらダメ！節制第一で頑張ってもらいたい！

油断大敵L.はずれもん&FKS

毎回辛うじて残留してきている両チームであるが、今回は24、25位と健闘している。そうは言っても差は僅かであり、今回の戦績次第で逆転される可能性も十分ある。FKSは、チーム練習不足。個々の力はあるのに惜しい！はずれもんは、若手の出来次第。ババア二人が足を引っ張らないようにしないことを祈る！

泥臭いバレーとスマートバレー

様々な大会を見ていると一目でバレー経験者と分かる選手がいる。能力的にも特出したものを感じることがある。しかし勝てない？何故なんだろう？ミニバレーは3人で返球する競技。しかも一人一回しかボールに触れないから、特出したプレーヤーが一人二人いてもつなぎがないとなかなか勝つことができないようになっていく。

つまり、「つなぐ」イコール「チームプレー」であるからチームの意思の統一とお互いの信頼感が絶対必要条件となってくるのではなからうか。

勝負に勝つことの基本条件として先ず、第一番目に挙げられるのは、「チームワーク」だと思う。

お互いの信頼関係の上に成り立ったチームワークが堅固なものであれば、練習の積み重ねでどんどん強くなっていくものと確信する。前述したように「つなぐ」ことの重要性は、格好ではなく、どんな形でもボールに集中するスタンスが不可欠になってくると思う。ここで泥臭いバレーの代表格である「火の国ドタバタ弾丸女こと三原浩古」を例に取れば、とにかくボールへの集中力と執着心が凄い。

レシーブの格好はというと、おせいじにも格好がいいとは言えない。ホールディング或いはドリブルぎりぎりのレシーブをする。(バレーでは当然原則)しかし、玉際の強さから言えばバレー経験者の比ではない位、強いものを持っている。恐らくバレー経験者では不可能なレシーブも平然とやってのける特性を持っている。また、どこまでもボールを追っかけるしつこさも有り、頭からだろうがなんだろうが、とにかく形振り構わず突っ込んでいく。

試合が終われば当然、全身アザだらけになるそうである。凄いらしいですよ？

私が、VOICEの
三原浩古で〜す！



出川ヒロミツ「ソーだったんですか？私は、てっきりS&●の愛好者とはばかり思っていたんですが、違うんですね？浩古ちゃん！」

浩古「……………ノーコメント。」

SSK「出川君！そんなことばっか言うから、ミニバレー界抱かれたくない男No.1に君臨し続けるんですよ(怒)！もっと純粋に物事は捉えなさいといけないよ！彼女の体型もフライングレシーブに影響してるんです。胸の前でのホールディング気味レシーブを得意としますが、美紀ちゃんや、ウイングの福重さんだったら、完璧にドリブルになっちゃいます！」

浩古「……………ノーコメント。」

SSKの大会展望

完成されたパンゲアは、予選でのピース戦が全てを左右する事になる。Gemも虎視眈々と上位を狙っているだけに少しのミスが命取りになる事になる。

対抗のNOELは、よほどのことがない限り予選1位で通過しそうだ。リファインのパワフルチカに期待。

Cパートでは、帰ってきたサウスポー大エース宮川を擁するDNAに期待したい。試合巧者で、若いアリスも角度のあるアタックを打ってくるので脅威。前回3位のサイエンスは、大黒柱永田の「お料理学校」が忙しくチーム練習ができていないのが辛い。野田のストレート打ちが冴えてきているだけに惜しい気がする。

Dパートのウイングは、上手く連携ができさえすれば力で他をねじふせるだけの実力がある。対抗は、個性派揃いで訳の分からないQUESSとボーツとして見られるように見える城を擁するリスベクトになる。

Eパートは、ズバリ、速攻&変則打ちのラピスと安芸ネエがリードする試合巧者のアイリッシュの一騎打ちが予想される。Aリーグには、各パート2位のトップチームが上されるだけに予選での失点を最小限に抑える必要がある。負け試合でも最後まで諦めることなく頑張れば上位パートに入れる可能性も生じるので頑張ってください。

謎の地球外生命体？

トップクラスチームには、物凄い個性を持った人が多いように感じられるのは私だけでしょうか？先日のコスモ打ち上げにゲスト出演されたNチームの投稿ネーム「オーブ」こと原Oさん！素晴らしい個性で他を圧倒してました。十一月二十六日の表彰式&懇親会席上でトークショーを是非にと御願いしたのですが……無理でした。